

区連会 11 月定例会資料
令和 7 年 11 月 20 日
総 務 課

各自治会町内会長 様

栄区総務課長

「令和 7 年度 栄区人権啓発講演会」の開催について【情報提供】

1 趣旨

人権問題への理解を深め、身近な課題として考えていただくために、「栄区人権啓発講演会」を開催します。

今年は、戦後 80 年という節目の年です。戦争は人権を脅かし、日々の暮らしや人々の命を理不尽に奪います。今回の講演会では、アンパンマンの生みの親・やなせたかし氏の思想に触れながら、平和の大切さについて改めて考えます。

過去から学び、平和を未来へつなげるために——ぜひご参加ください。

2 お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。

【地区連長】地区定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】定例会等で情報提供の上、チラシの班回覧をお願いします。

3 講演会の概要

(1) 日時

令和 8 年 1 月 16 日（金）14 時から 15 時 30 分 （13 時 30 分開場）

(2) 場所

栄公会堂（所在地：横浜市栄区桂町 279-29）

(3) 内容

テーマ：戦争とアンパンマン ～ やなせたかしの”いのちの哲学” ～

講 師：梯 久美子 （かけはし くみこ） 氏

ノンフィクション作家。やなせたかしが編集長を務めた『詩とメルヘン』編集部で働き、創作や人生観に大きな影響を受ける。著書に『昭和二十年夏、僕は兵士だった』、『昭和の遺書 55 人の魂の記録』、『百年の手紙 日本人が遺したことば』、『狂うひと 「死の棘」の妻・島尾ミホ』（読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、講談社ノンフィクション賞受賞）、『戦争ミュージアム——記憶の回路をつなぐ』、『やなせたかしの生涯アンパンマンとぼく』など多数。

4 ご参加いただける方

どなたでもご参加いただけます。※入場無料

裏面あり

5 申込方法

以下のいずれかの方法でお申し込みください。

① 横浜市電子申請システム

【令和7年度栄区人権啓発講演会（令和8年1月16日開催）申込フォーム】

〈URL〉

<https://shinsei.city.yokohama.lg.jp/cu/141003/ea/residents/procedures/apply/259dd92d-7a18-42aa-bef8-d481b23a4563/start>

② メール：sa-somu@city.yokohama.lg.jp

③ F A X：045-895-2260

※ ②・③でのお申込みの場合は「人権啓発講演会申込み」と明記のうえ、

お名前、ご連絡先（電話番号・メールアドレス）、

ご連絡事項（手話通訳・無料保育の希望、車いすでのご来場等）を記載してください。

※ 定員超過の場合、ご参加いただけない方にのみ、電話またはメールにてお知らせします。



6 その他

詳細は栄区ホームページからもご確認いただけます。下記で検索してください。

【令和7年度 栄区人権啓発講演会ホームページ】

人権啓発講演会 栄区

検索

担当：栄区総務課庶務係 川嶋、宮川

栄区役所本館 4階 41番窓口

Eメール sa-somu@city.yokohama.lg.jp

電話 045-894-8311

FAX 045-895-2260

ご存じですか？

アンパンマン に込められた 平和への想い

令和7年度栄区人権啓発講演会

戦争とアンパンマン ――やなせたかしの“いのちの哲学”――



講師
かけはし くみこ
梯 久美子 氏
(ノンフィクション作家)

令和8年 **1月16日(金)**

14:00～15:30 (13:30開場)

入場無料
(事前申込制)

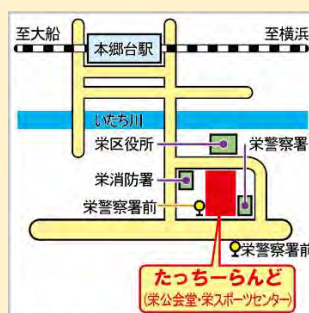
手話通訳・無料保育
(事前申込)

栄公会堂 (栄区桂町279-29)

申込

申込フォーム
メール・FAX

1/8 (木)
×切



JR京浜東北線・根岸線
「本郷台駅」徒歩9分

※駐車場料金の減免はありません



▲申込フォーム

- ◆申込フォームの場合、右の二次元コードからお申込みください。
 - ◆メール・FAXの場合、「人権啓発講演会申込み」と明記の上、下記①～③の必要事項を記載して送信してください。
 - ①名前 ②連絡先(電話番号・メールアドレス)
 - ③連絡事項(手話通訳・無料保育の希望・車いすでのご来場等)
- 【メール】 sa-somu@city.yokohama.lg.jp
【FAX】 045-895-2260

※定員超過の場合、ご参加いただけない方にのみ、電話またはメールにてお知らせします。

プロフィール

ノンフィクション作家。1961(昭和36)年9月15日、熊本市生まれ。北海道大学文学部卒業後、編集者を経て文筆業に。2005年のデビュー作『散るぞ悲しき 硫黄島総指揮官・栗林忠道』で大宅壮一ノンフィクション賞を受賞。同書は米、英、仏、伊など世界8か国で翻訳出版されている。著書に『昭和二十年夏、僕は兵士だった』、『昭和の遺書 55人の魂の記録』、『百年の手紙 日本人が遺したことは』、『狂うひと「死の棘」の妻・島尾ミホ』(読売文学賞、芸術選奨文部科学大臣賞、講談社ノンフィクション賞受賞)、『原民喜 死と愛と孤独の肖像』、『サガレン樺太/サハリン 境界を旅する』、『この父ありて 娘たちの歲月』、『戦争ミュージアム——記憶の回路をつなぐ』、『やなせたかしの生涯アンパンマンとぼく』などがある。